

2025年3月21日

「ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究」
「ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究 II」
にご参加いただいた皆様へ

シンバイオシス・ソリューションズ株式会社

当社では芝パレスクリニックの倫理審査委員会で審査・承認された「ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究」および「ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究 II」を実施しております。これらの研究にご参加いただいた皆様より腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態に関する情報等を提供いただきました。

このたび、さらなる健康状態の増進や疾病の予防に有効な方法を探索・開発するため、皆様の腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態に関する情報等を「肝胆道癌患者を対象とした周術期における腸内細菌叢の変化に関する研究」で活用させていただくことになりました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態に関する情報等を「肝胆道癌患者を対象とした周術期における腸内細菌叢の変化に関する研究」で活用することを希望しない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

【腸内細菌叢が髄膜腫の発生・増大に与える影響に関する研究】

研究の名称	肝胆道癌患者を対象とした周術期における腸内細菌叢の変化に関する研究
研究の目的	肝胆道癌患者の疾患特異的な腸内細菌叢の存在、さらに臨床データと細菌叢との関連について検証する
研究代表者	関西医科大学 肝臓外科学講座 海堀 昌樹
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年3月31日
利用する資料・情報の項目	腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態等に関する情報

【ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究について】

研究の名称	ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究
当社の研究責任者	増山 博昭
研究期間	2020年1月16日 ～ 2030年3月31日
腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析に活用する内容	腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態に関する情報のうち、既知の情報を匿名化した状態で活用する。
腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析で資料・情報を活用する目的・方法	<p>【目的】 ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究で収集したデータを腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析で活用することで、健康状態の増進や疾病の予防に有効な方法の探索・開発を推進する。</p> <p>【方法】 ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究で過去に収集した情報についてについて、個人が特定できないように匿名化した上で活用する。</p>
試料・情報の管理責任者	シンバイオシス・ソリューションズ株式会社 増山 博昭
試料・情報の活用及び共有・提供を希望しない場合等の連絡窓口	シンバイオシス・ソリューションズ株式会社 research@symbiosis-solutions.co.jp

【ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究 IIについて】

研究の名称	ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究 II
当社の研究責任者	増山 博昭
研究期間	2020年11月19日 ～ 2030年3月31日
腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析に活用する内容	腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態に関する情報のうち、既知の情報を匿名化した状態で活用する。
腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析で資料・情報を活用する目的・方法	<p>【目的】</p> <p>ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究で収集したデータを腸内細菌叢が消化管疾患の発生や経過とその関連疾患に与える影響の解析で活用することで、健康状態の増進や疾病の予防に有効な方法の探索・開発を推進する。</p> <p>【方法】</p> <p>ヒトの腸内細菌叢、生活習慣及び健康状態の関連性に関する疫学研究で過去に収集した情報についてについて、個人が特定できないように匿名化した上で活用する。</p>
試料・情報の管理責任者	シンバイオシス・ソリューションズ株式会社 増山 博昭
試料・情報の活用及び共有・提供を希望しない場合等の連絡窓口	シンバイオシス・ソリューションズ株式会社 research@symbiosis-solutions.co.jp

以上